

子どもたちの体力の現状と向上対策は



三友美恵子



教育長

各学校で体力向上プランを作成し
計画的かつ継続的に取り組んでいる

質問

「最近の子どもたちはキ
しやすくなっている」と
言われているが、玉村町の現状
はどうか。

答弁

教育長 **※1**QU検査（教
育・心理検査）の結果を
見ると、学校生活に満足してい
る小中学生の割合は、全国平均
を大きく上回っている。小さな
トラブルは日常的に起こってい
るが、子どもたちはそれらを乗
り越えることで社会性を身につ
けている。

質問

スマートフォンや携帯電
話の使用制限の効果は出
ているか。

答弁

教育長 家庭学習の時間
にスマートフォンや携帯
電話の使用時間が関係している
ことが明らかとなった。

玉村町青少年問題協議会やP
TA等と連携を深め、「夜9時以
降は使わない」「ルールを守れな
い時は使用させない」の取り組
みをさらに推進していく。

質問

子どもたちの遊びは、情
緒の安定のための脳の前
頭前野の発達と、体力の向上に
必要であると言われているが、
遊びの時間と場所の確保はどの
ようになっているか。

答弁

教育長 最近、自分から
遊べない子どもが増えて
いる。そこで各学校が工夫をし
て始業前や放課後などを使い、
先生が校庭でゲームや運動など
をして子どもたちを遊ばせてい
る。校庭は、夏休みを含めて、
夏は4時半、冬は4時まで開放
しているので利用してほしい。

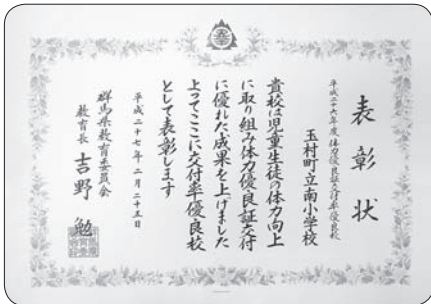
質問

子どもたちの体力の現状
と向上対策についてはど
うか。

答弁

教育長 小学生は、柔軟
性や握力、50メートル走
では全国平均を上回っているが、
それ以外の種目は、群馬県の傾
向と同じで全国平均をやや下
回っている。

そこで、各学校で子どもたち
の体力向上プランを作成し、計
画的かつ継続的に体力向上に取
り組んでいる。南小学校と南中
学校が、体力向上の取り組みが
評価され、群馬県教育委員会よ
り表彰された。

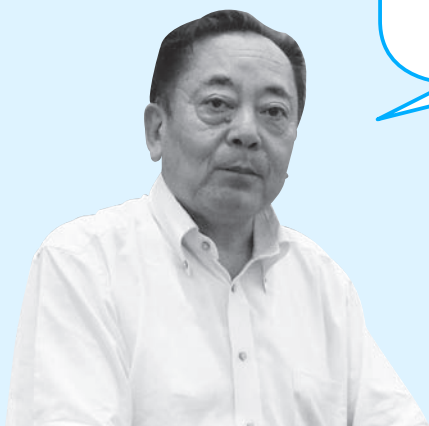


子どもたちの体力向上への
取り組みが表彰されました
(上：南小学校、下：南中学校)



※1【QU検査】学級経営に役立てるために実施するアンケート調査。
・居心地のよいクラスにするための学級生活満足度尺度。
・やる気のあるクラスをつくるための学校生活意欲度尺度。

若者の低投票対策として、 主権者教育の充実を



石川眞男



選挙管理委員会書記長

世代を通じた主権者教育の 必要性を認識している

質問

投票年齢の18歳への引き下げは、一層の投票率悪化になりかねない。

「教育の政治的中立」の前に、学校で自主規制が進み、政治から若者を遠ざけているのではないかと。

答弁

教育長 日常生活で物事を多面的・多角的に考える能力や態度を身につけさせることが大切である。学校では、生徒会役員を決める際に、選挙管理委員会を組織し、立会演説会や各クラス回りなどをして自分の主張を伝え、選挙の体験をしている。

社会科の授業では、ネット社会の実情や沖縄の基地問題、原発など時事的な事象も取り上げ、主体的に考えさせるようにしている。

質問

それでもこの低投票率だから、ドイツ、イギリス、アメリカ、スウェーデン等のように、もっと政治問題に踏み込

んだ教育が必要と考えるが。

答弁

教育長 学習指導要領に基づき、現在行っていることを、さらに充実させていきたい。

質問

国民主権、立憲主義等の主権者教育に、町として力を入れる必要があると考えるが。

答弁

選挙管理委員会書記長 国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断する主権者を目指すことは大切であり、あらゆる世代を通じての主権者教育が重要である。



質問

来年3月までに策定予定の玉村町版総合戦略について問う。

答弁

町長 玉村町では、地方創生が叫ばれる前から、人口減少対策として文化センター周辺まちづくり事業を進めており、200戸ほどの住宅地を分譲し定住促進に取り組んでいる。

また、多くの人に町を訪れていただくために道の駅玉村宿を情報発信拠点とし、町外に町をアピールしていく。

さらに、玉村町と高崎駅を結ぶ公共交通機関を充実させ、通学環境を整備したい。

総合戦略については、「たまむらの未来創成本部（本部長・町長）」を設置し、広く住民の意見を反映させる体制をつくり、議会とも協議しながら策定したい。